



学校だより

令和4年6月30日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 近藤 伸
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
Tel 943-0802・0803

持続可能な学校教育の取組

学校長 近藤 伸

今年の間東地方の梅雨明けは統計がある1951年以降最も早かったそうです。朝会での私の話でもお米や野菜などの生育への影響、ダムの貯水量の心配などにもふれましたが、今後も晴天が多い日が続くことが予想されています。先日にメール配信をさせていただきましたが、朝の天気予報などで気温が上がり、熱中症が危惧されるような日には帽子をかぶる、マスクを外しての登下校にご理解、ご協力をお願いします。学校でも近距離での会話をしないように子どもたちに話していますが、ご家庭でもお子様にお話いただければと思います。

話は変わりますが、本校は今年度「持続可能な学校のあり方を探る実践モデル校(市内20校)」になりました。1年間かけて、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の同時実現のために、柔軟な教育課程の編成、評価、改善に取り組む学校風土を醸成するとともに、教職員の働き方についても教務主任を中心に各教職員が時間外の勤務時間をできるだけ減らし、仕事と家庭とのワークライフバランスをとること、放課後の会議を精選し授業の教材研究や採点処理、成績処理などの時間を確保すること(金曜日や9月や3月のあゆみ作成時期を中心に)、午後5時半以降の学校電話は基本として留守番電話とすることなどの取組を今後も行なってまいります。そして、しっかりと児童に向き合う時間の確保やよりよい授業をめざした質の向上に努めてまいります。

また、PTA総会でご承認いただきました健康観察アプリ「リーバー」の導入も朝の児童の健康観察、欠席(遅刻、早退)児童の確認、体温の確認などが教室内で担任が瞬時にタブレット端末で確認でき、これまで連絡帳や電話連絡などを確認していたのと比べ、極めて短時間で把握できるようになりました。養護教諭も各教室を巡回して健康観察表を回収し、集計し管理職へ報告するまでの時間も短時間でできるようになりました。また、保護者の方からも朝の忙しい時間に連絡帳を書く手間が省ける、学校に電話をしても繋がらないこともあったが、リーバーだと簡単に連絡できるので有難いと言った意見も聞かれました。今後ともこのようなデジタル化の波はタブレットやスマートフォンの目覚ましい普及に伴い、より一層学校でも普及していくものと思います。児童はもちろん、私たち大人はその意義とねらい、マナーなどについて繰り返し確認し、進めていくことが大切だと考えています。ぜひ、ご家庭でもタブレットやスマートフォンなどの使用についての約束やマナーなどについて話し合う時間をもっていただければと思っています。

子どもたちの話を聞いていると、もう夏休みのことも話題になっています。本校では7月21日(木)～8月28日(日)までが夏休みとなっています。新型コロナウイルスの新規陽性者もかなり減ってきており地域の行事や観光地のイベントなども今年度は再開するところも多いと聞いています。子どもたち一人ひとりが4月からの学習の振り返りをもとに復習や課題に取り組んで夏休み後の学習に活かしてほしいと願っています。病気やけが、交通事故、水辺での事故に気をつけ、また8月29日(月)に元気に会えることを楽しみにしています。